

令和5年度鹿児島市交通事業特別会計決算の概要

(収支状況)

(単位:千円)

区 分		軌 道	自 動 車	計
収益的収入及び支出(税抜)	収入			
	営業収益	1,680,804	1,105,980	2,786,784
	営業外収益	525,071	251,082	776,153
	経常収益計(A)	2,205,875	1,357,062	3,562,937
	特別利益	26	104,107	104,133
	収益合計(B)	2,205,901	1,461,169	3,667,070
	支出			
	営業費用	2,058,726	1,838,759	3,897,485
	営業外費用	36,312	23,177	59,489
	経常費用計(C)	2,095,038	1,861,936	3,956,974
特別損失	0	1,513	1,513	
費用合計(D)	2,095,038	1,863,449	3,958,487	
経常損益(A)-(C)	110,837	△504,874	△394,037	
純損益(B)-(D)	110,863	△402,280	△291,417	
資本的収入及び支出(税込)	収入			
	企業債	376,650	357,150	733,800
	補助金	0	104,027	104,027
	固定資産売却代金	0	22,484	22,484
	収入計(E)	376,650	483,661	860,311
支出				
建設改良費	382,554	468,014	850,568	
企業債償還金	306,781	73,548	380,329	
支出計(F)	689,335	541,562	1,230,897	
収支差引(E)-(F)	△312,685	△57,901	△370,586	
資金収支	損益勘定留保資金等	442,118	272,570	714,688
	うち 特別減収対策企業債	0	141,800	141,800
	5年度資金収支	240,296	△187,611	52,685
	4年度末資金残	6,192,171	△5,963,241	228,930
	5年度末資金残(G)	6,432,467	△6,150,852	281,615

(主な事業)

(1) 運賃クレジットカードタッチ決済導入事業 127,135 千円

インバウンド需要を見据え、市電の普通運賃に関するクレジットカードタッチ決済を運用するとともに、利用可能なカードブランドを拡充したほか、新たに市バスにも導入した。

(2) 併用軌道横断歩道舗装改修事業 72,256 千円

いづろ交差点、いづろ中央交差点の横断歩道における舗装改修を行い、横断時の安全性の向上を図った。

(3) 専用軌道停留場上屋改修事業※ 6,520 千円

脇田停留場において上屋の改修を行い、安全性を確保するとともに、利用者へのサービス向上を図った。

(4) 乗合バス更新事業 273,011 千円

乗合バス7両を更新し、このうち2両は、環境にやさしいEVバスを導入した。

(5) 国体おもてなしラピカ事業※ 469 千円

「かごしま国体・かごしま大会」を契機に本市を訪れた選手等が記念に持ち帰りたくなるような、デポジットなしの「国体おもてなしラピカ」を発売し、市電・市バスの利用促進と乗車料収入の増を図った。

(6) 市電・市バス運賃箱改修事業 65,239 千円

新硬貨・新紙幣に対応するため、運賃箱(両替機)の改修を行った。

(7) 谷山線電車線柱建替え及び電車線改良事業 44,905 千円

南鹿児島駅前電停から上塩屋電停間の電車線柱を更新した。

(8) センターポール照明LED化事業 22,665 千円

中郡電停から郡元間と、涙橋電停からみずほ通り交差点間において、センターポール照明に使用されている水銀灯をLEDへ更新した。

(9) VVVF制御装置更新事業 142,560 千円

電車2110形から2140形で使用されている、モーターを制御して速度を調整するためのVVVF制御装置について3両を更新した。

(10) 渡り線その他分岐器更新事業 10,035 千円

電車通過時の安全性を確保し、利用者の乗り心地向上を図るため、脇田の工事箇所設計を行った。

(11) 1000形ブレーキ装置空制化事業 40,374 千円

電車1000形で使用しているブレーキシステムを電気式から空気式へ1両更新した。

※印の事業は税抜。その他は税込。